

令和3年度 金閣小学校教育の基本方針

学校教育目標

自分の夢に向かって、人や環境に働きかける子の育成

目指す子ども像

～自ら学び、自ら考え、自ら行う子～

- よく見て、よく聞いて、よく考える子
- 「なりたい自分」にむかってがんばる子
- 友達を自分と同じように大切にする子

育てたい資質や能力

- 自分から進んで周囲の人に関わろうとする力【コミュニケーション力】
- 身の周りの事象から課題を見つけ、進んで解決しようとする力【問題解決力】

目指す教職員像

- 信頼できる大人としてのモデルを示すことのできる教職員
【連携・協働・研鑽】

目指す学校像

- 「あいさつ」と「ありがとう」が響き渡る学校
- 子どもが夢に向かって自分の力を発揮できる学校
- 一人一人の子どもが徹底的に大切にされる学校

指導の重点

(1) 教育活動

- ①学年経営を基盤とする学級経営の安定化
 - 全ての子どもが安心して、過ごせる学級・学年
 - 自分の居場所がある学級・学年
 - 目標をもって行動する学年
 - 児童理解
 - ・児童、保護者との信頼関係の構築
 - ・学習（生活）態度の観察と学習成果物の分析
 - ・より多くの視点での児童理解
 - ・児童一人一人の背景を捉える（生活実態の把握）児童のせいにしない
 - ・罰とおどしによる指導の徹底した排除
 - 心情的共感
 - ・心情的に共感し合える関係の構築 心の交流
 - 受容
 - ・まず受け入れる しっかり話を聞く

- ・思いを受け入れ、相手の立場になって考えてみる
- ・まず聞き入れて付き合ってみる
- ・最後まであきらめない

②カリキュラムマネジメントの視点による教育実践

○カリキュラムデザイン

- ・すべての教育内容を教科横断的な視点で組織的に配列し、効果を高める。

○P D C Aサイクル

- ・教育内容の質的向上を図るために、評価・改善・充実の好循環を目指す。

○内外リソースの活用

- ・教育活動に必要な人的・物的資源を効果的に組み合わせる。

③授業（学習指導）の質的改善

○基礎基本の徹底指導・定着

- ・「読む力」「書く力」と「計算力」を向上させる
- ・楽しい授業、分かる授業、できる授業の構築
- ・ノート指導、発問・板書の工夫・個別指導の工夫
- ・導入は短く、中心（山）のある授業展開
- ・一時間ごとの「ねらい」の明確化
- ・「めあて」「見通し」と「まとめ」「ふりかえり」

○主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善

- ・つけるべき資質や能力【コミュニケーション力と問題解決力】の明確化
- ・問題意識をもって追究する問題解決的な学習の展開
- ・理科専科（4～6年）・体育専科（3～6年）・音楽専科（5・6年）による質の高い授業
→高学年での、中学校進学に向けた教科担任制の導入への積極的な準備
- ・「授業が楽しい」から「学校が楽しい」への変容

○個に応じた指導

- ・一人一人に応じた補充的・発展的な学習
- ・L D等支援を要する児童への学力保障（総合育成支援教育の取組）
- ・通級指導教室との連携

○学習評価の充実（指導と評価の一体化）

- ・京都市スタンダード及び評価補助簿の活用

④道徳教育の充実

○道徳実践力を培う

○あらゆる教育活動を通して、子どもの内面に根ざした道徳性を養う。

○「読み物資料」「視聴覚資料」の活用

- ・特別活動との関連
- ・道徳的価値を自分の生活と関連付けて理解させる
- ・多面的・多角的に考えたり議論したりする授業の創造

⑤総合的な学習の時間の充実

- 探究的な見方や考え方を働きかせ、横断的・総合的な学習展開を通して、自己の生き方に働きかける資質や能力を育てる。
- ・各教科の学びとの関連を強化し、問い合わせが連続する単元構成を図る。
 - ・学校行事や特別活動と学習内容を関連付けることで、教科横断的な学習の充実を図る。
 - ・学習発表会を、総合的な学習の時間の表現課題の一環として、保護者や地域の方に積極的に発信する。

⑥英語教育の充実

- 小中連携を意識し、コミュニケーション能力の基礎となる 資質や能力を育てる。
- ・A L Tとの連携による指導の充実
 - ・小中連携の強化による指導の接続
 - ・新教材を使用した指導の工夫
 - ・高学年の学習評価の研究
 - ・低学年の指導法の研究や教材開発の推進

⑦キャリア教育の充実

- 生き方探究パスポートを活用したキャリア発達の継続的アセスメント

⑧プログラミング教育の実施

⑨特別活動の充実

- 自ら進んで活動する「集団づくり」の推進
- ・6年生を中心とした児童会活動
 - ・「委員会活動」「クラブ活動」等での人間関係力の育成
 - ・学校行事のねらいと計画的な取組
 - ・縦割り活動（ABC集会）の充実
- 社会見学・宿泊学習
- ・目的意識をはっきりさせた活動の創造
 - ・花背山の家 1泊2日 (5年生) (6年生)
 - ・修学旅行 1泊2日 (6年生)
 - ・遠足 (1・2年生)
 - ・生活科、社会科、生活単元学習、総合的な学習の時間の学習内容による社会見学・校外指導

⑩読書活動の充実

- 児童の読書への興味・関心を高めるための取組の推進
- ・効果的な朝読書の工夫

- ・読書環境の充実と「100冊読書」への挑戦
- ・学校図書館の普通授業での活用
- ・読み聞かせ活動の充実
- ・学校司書との連携による、各学級での読書活動及び読書指導の充実

⑪家庭学習の充実

○基本的な学習習慣の定着（15分×学年）

- ・家庭学習の手引きの活用
- ・自学自習の習慣化のための啓発

○明確な家庭学習課題の設定（宿題・家庭学習習慣・自学自習）と確実な点検

- ・家庭の果たすべき役割の啓発と協働の取組
- ・学習予定表の工夫
- ・自主学習の取組
 - (家庭学習時間帯の設定・起床・就寝時刻など)
 - (読書の習慣化)
 - (家庭学習課題の明確化)
 - (保護者との交流)

⑫学校生活の基本的な生活習慣の向上

○登下校の把握と指導

○挨拶と当番活動の指導の徹底

- ・日直指導、清掃指導、給食指導
- ・自分から、遠くから、大きな声で、名前も呼んで

○学校のきまりを徹底して守らせる

- ・「自分を守るため」「人を大切にするため」の学校の決まりの確認
- ・判断力を育成するための「考えさせる指導」

○整理整頓

- ・使ったものは元通りに
- ・教材教具の整備と整理